

令和5年度第4回二宮町施設一体型小中一貫教育校設置研究会

日時：令和6年3月27日（水）9：30～11：30

場所：二宮町町民センター 3Bクラブ室

出席者：17名

原会長、山内副会長、池田会員、渡邊会員、三好会員、小林会員、協会員、
和田会員、中西会員、北川会員、伊庭会員、藤田会員、藤原会員、古正会員、
森会員、野谷会員、渡辺会員

欠席者：7名

片岡会員、八幡会員、宮戸会員、村田会員、齋藤会員、岡野会員、杉本会員

傍聴者：0名

配布資料：・次第

- ・資料1 施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」について
- ・資料2 令和5年度にのみや学園の主な取り組み
- ・資料3-1～2 素案検討会
- ・資料4-1～8 提言書素案
- ・資料5 喫緊の課題と解決のための取り組み

議事要旨

1. 開会	
事務局	・資料確認 ・傍聴者の確認→無
2. 会長あいさつ	
会長	・提言書の内容にも少し入っていくので、これまでの協議を振り返りながら、ご意見をよろしくお願いします
3. 協議	
(1) 施設一体型小中一貫教育校の設置場所について ①「二宮町小中一貫教育校導入検討内容報告」「二宮町小中一貫教育校推進研究会」について	
会長	・具体的な設置場所を考える際には、町の関係部局との連携、すり合わせが必要なため、簡単に研究会として責任を持って提示することは難しい ・教育委員会では、少子化の進行への対応、学力向上や中一ギャップの緩和、教育効果の向上、地域家庭の教育力向上等、現在や将来の学校が抱える様々な課題を解決していくための方策として、小中一貫教育を推進しようと考えている ・特に一色小学校区においての少子化の進行が話題になっており、二宮町として適正な規模並びに適正配置について、検討を積み重ねてきた ・平成 29 年度には二宮町小中一貫教育導入検討会を立ち上げ、学校再配置について、かなり詳しく検討している。 ・児童生徒数の現状と今後の状況、そして再配置の検討にあたっての条件として、 ・児童生徒の学習環境を改善する観点から、それから小中一貫教育校の形は当面分離型でいく ・単級の学校は作らない ・現在の小学校区に最低一つの小、または中学校を置く ・統合や校種の変更による改修を行うが、中期的に新設は行わない ・地域との関係を十分考慮する ・財政的な負担をできるだけ少なくする といった基本的な事項が整理されている ・学校再配置のケースの検討において、40 通りの組み合わせが提示されている ・平成 30 年度には、二宮町小中一貫教育校推進研究会ができ、学校

	再配置のケースの絞り込み時期の整理、通学区域の考え方等についてまとめられた ・二宮町全体の二宮町公共施設再配置という考え方から来ている統廃合の必要性が書かれている ・これらの検討を受けて現在本研究会を進めている ・学校の果たす役割ということでやっぱり地域の中で非常に大事な部分 ・小中一貫教育を進めるためには施設一体型の小中一貫教育校が望ましい ・教育委員会としては、義務教育学校化にすることについて何度か教育委員会議等で言葉が出ていた。 ・学校再配置計画に関連して、小学校では一色地区の子どもが二宮中学校へ行く場合、通学方法の検討も必要になってくる ・このような内容については、別途教育委員会、町部局で検討を開始してほしい ・研究会での課題や願いは提言の中に入っているなので、そこをくみ取っていただいて検討していただくことになる
(1) 施設一体型小中一貫教育校の設置場所について ②・建設可能な町有地について ・各小中学校の耐用年数と改修計画について ・児童生徒数の推移と予想される問題について ③設置場所に関する提言に向けた協議	
事務局	・上記3点について、事務局より説明 ・約 19,000 m²が必要。町有地では、東大果樹園跡地、ラディアン裏 ・学校では、二宮西中学校や一色小学校がその規模 ・各校の耐用年数は、2030 年～2040 年で超えていく ・耐震については、全ての建物で終わっているが、一色小学校の体育館は耐震化不要だったため、行っていない。 ・令和5年5月1日では、児童生徒数は、1667 人 ・当初想定より増えているが、KDDI 跡地の分譲等が影響している ・令和3年あたりコロナ禍で出生人口が減っているなので、その後の年代で反動がある可能性はあるのではないかと考えている
会長	・一色小学校の単級、二宮西中学校の2学級等で現実的な問題は起き始めているのか？
事務局	・二宮西中学校において、陸上部と野球部が次年度から募集停止するような形で変えていく動きがある

会員	・二宮西中学校では、二宮中学校で練習させてもらう、合同チームにするなどで対応している
会員	・2030～2040 年に耐用年数を超えるので、新規建て直しを検討しなければいけないのか。 ・改修工事は、長期にわたると授業に影響はしないのか。
会長	・短期でみて、かなりのお金をかける必要があるならば、施設一体型の学校も候補になる。そういう意味では、耐用年数は関わってくる ・夏季休業中に行う、プレハブ校舎に仮住まいする等で対応していた ・短期でみて、かなりのお金をかける必要があるならば、施設一体型の学校も候補になる。そういう意味では、耐用年数は関わってくる ・今後の改修計画はどのようになっているか。
事務局	・二宮町長寿命化計画が町ホームページに載っているが、令和2年度に現況調査を行い、直すべき箇所が示されている ・山西小学校南棟の外壁改修、北棟大規模改修、二宮西中学校屋上防水等が指摘されていて、直近2，3年で行っていく計画がある。
会長	・学区の再構築については各地区との合意形成が必要なため協議を開始すること、通学手段の検討準備も始めること、が提言としてあげられる ・また、意見は素案検討会の時にご意見をいただきたい
(2) にのみや学園の成果と課題について	
会長	・にのみや学園が分離型で始まり、色々と成果が見えてきている ・提言書の一つに、分離型教育はどうなのかという検証を入れていく ・この成果は、施設一体型への移行の判断材料になるので、分離型の成果と課題は非常に重要
事務局	・資料1、2に基づいて説明
会員	・小中一貫教育の目的、取り組みの結果がどうだったのかなど整理の仕方が必要 ・授業研究については、各校が同じ姿勢で同じように授業構成をするが、小中一貫教育との関連が分からない部分がある ・このような部分がにのみや学園になって促進されているので、書き方を変える必要があるかもしれない
会長	・教育指導の特徴として、これまでの研究を引き継いでいくことは大事。二宮町の先生方のレベルアップにつながっている ・ただ、小中一貫教育という視点で、書き方等捉え直しが必要な部分があるかもしれない

会員	・この成果は、にのみや学園をやったからなのか、何か要因があったのか。
事務局	・にのみや学園になったことで、この取り組みを5校で一体となって進めていこうという動きはかなり強くあった ・これからは、みんなで協力することで持続と加速ができる
会長	・ステンドグラスを小学生が見ることで、自尊感情や目的意識が醸成されていく。 ・中学校へのステップが非常に低くなっていく等、小中一貫の様々な成果が表れている ・現段階では、年間に数回のみ「点」となっているが、施設一体型だと、毎日見られるので「面」になる。 ・そういった部分で、施設一体型の意義はあると思う
事務局	・小中一貫教育を始めた時の意義について ・子どもよりも先生たちのマインドを揃えることが大事（小学校の先生が中学校3年生の卒業する姿を見越して授業するなど） ・小学校の先生が中学校に子どもたちを送り出すために、どのように学習していったら良いか考える ・学園としては、「互いを尊重する」「自分の意見をしっかり言う」「相手の話をしっかり聞く」「互いに高め合う」「自分が間違っていたら謝って修正する」といった部分を育てていく
会長	・子どもの移動時間に何コマつかうのか。
事務局	・小中学校の交流も小学生同士の交流も1コマ45分だが、中休み等も含めて2コマ。 ・休み時間なども移動にあてながら、交流の時間を確保できるようにしている ・休み時間が削られているが、削られてしまうショックよりも交流できるウキウキ感はある
会長	・年間授業数を確保するのに苦労される先生方も授業づくりに非常に時間をかけているので、できれば休憩時間にしてあげたい
（3）提言書作成に向けて	
会長	・資料3-1、3-2、4-1、4-2の説明 ・皆さんのご意見をいただきたい
会員	・資料4-2の8、2030年代というのが仮置きしているように見えるが、根拠はあるのか。
会長	・できるだけ早くと言っても数年先は無理だろうということで2030

	という数値が来ている ・児童生徒数も勘案されている
会員	・施設一体型小中一貫教育校の設置が 2040 年以降と決まっている中で、その途中でもう一つ検討を始めてほしいので、2040 年と 2020 年の間の 2030 年くらいという面もある
会長	・この形をベースに素案検討会で内容を確認していくことで良いか。
会員	・(意見なし)
会員	・この会の位置づけとしては、資料 4-2 の 3 の推進策という捉えで良いでしょうか。
会長	・おおかた良いと思います
会員	・残り 3 回の見通りはどのようにになっているのか。
会長	・次回は、小中一貫教育をより充実させるためのハード面について話し合っていきたい ・研究会では、学校は防災や文化交流の拠点になるという意見があるので、幼児と高齢者も一緒に居られる空間を作っていくというような方向で資料等もお示ししながら、皆様のご意見をいただきたい ・残り 2 回は、提言書に集中していきたい ・素案検討会の日程を提起するので、日程の合う方は来ていただきたい
事務局	・本日の会議録は、皆様にご確認いただいた後、ホームページで公開する予定
4. 閉会	